



平成28年2月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

松崎でメタン発酵消化液を用いたスジアオノリ陸上養殖試験



解説：スジアオノリは松崎町の河川汽水域に生育する海藻で「松崎川のり」としてしずおか食セレクションに認定されている。冬に採取されるが、近年収穫量は減少。

食品廃棄物のメタン発酵処理時に出る廃液（消化液）は、肥料としての利用が期待されますが、便利な利用方法が確立されていないため、その大部分が焼却処理などされています。現在、当分場ではこの消化液をスジアオノリの陸上養殖に利用できないか研究しています。研究室レベルの実験では海水に消化液を適量加えることで生長を促進させることが分かってきました。今回、松崎町でスジアオノリの陸上養殖を試行している（一社）はな・ろまの協力を得て、実証規模の実験も進めることとしました。これからの実験に期待が高まります。

サクラマス養殖試験2度目の挑戦

昨年12月24日、水産技術研究所の指導の下、網代漁業(株)が網代湾で2度目のサクラマス養殖試験を開始しました。河川水で飼育された約300gの種苗4トンを海面生簀で1kg以上に育て、4月頃より試験出荷する予定です。今期は12月～1月中旬の水温が例年に



比べ2℃以上も高く、摂餌行動の鈍化や魚体のスレ等トラブルが発生しましたが、1月下旬以降、水温が低下し始め、好調となりました。

の水温が例年に比べ2℃以上も高く、摂餌行動の鈍化や魚体のスレ等トラブルが発生しましたが、1月下旬以降、水温が低下し始め、好調となりました。

新たに4名が県漁業士に認定

伊豆地区から、いとう漁協の佐藤竜太さん、増田一人さん、伊豆漁協(須崎)の土屋臣嘉さん、田中舟一さんの4名が新たに漁業士に認定されました。佐藤さんは青年漁業士、他3名は指導漁業士です。この他、これまで青年漁業士だった4名が指導漁業士となりました。今後の活躍が期待されます。また、伊豆漁協(南伊豆)の坂倉天良さん、同(稲取)の中山勝美さんには名誉漁業士の称号が与えられました。



解説：漁業士：リーダー的な漁業者で青年漁業士と指導漁業士があり、知事が認定。今年度から長年の漁業士活動に対し名誉漁業士制度が設けられた。

2月の予定 ●稲取地区でテングサを増やすため、地元ダイバーと漁業者による雑藻刈りの取り組みを支援します。
●平成27年度静岡県漁業士会総会が5日に伊豆長岡で行われます。 ● 15日に西伊豆地区で水産物の価値を磨く事業の作戦会議（対象：ひじき）が行われます。 ● 24日に下田市教育委員会主催の水産・海洋学講座で「静岡県の栽培漁業」と題して講演を行います。 ●キンメダイ種苗生産用の親魚を確保するために、キンメダイの捕獲を行います。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835
アドレス：suigii-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>
当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。